

事例 1 えりも町立えりも小学校

●全校児童数／104名

●導入学年・教科／1~6年生(国語・算数)

01

紙のドリルと比べて、タブドリ Live! のメリットはどんなところですか？



昨年度ICT担当:横山 典明先生

ペーパーレスで業務効率の良いところが最大の魅力になると思います。印刷する手間が省けるだけでなく問題の量や内容が選択でき、正誤もすぐに見取ることができるのが大きいと思います。

また、児童の視点から見ると、継続してドリルに挑戦することで報酬がもらえたり着せ替えができたりするなど、反復で退屈になりがちなドリル学習への興味や意欲づけの仕掛けがたくさんあることが良いところだと思います。

02

タブドリ Live!manager で、先生が良く活用している機能を教えてください。

えりも小学校の先生方が一番活用しているタブドリLive!managerの機能は、課題配信機能です。いつでもどこでも児童へ課題を配信することが可能なので、前日までに焦って宿題の準備を行ったり、印刷機が空くのを待ったりすることなく効率的に準備することができます。

また、結果の見取りなども行えるので、取組が進んでいない子に個別に指導を行ったり、長期休業中での学習状況を把握したりしています。



ICT担当:立花 広大先生

03

タブドリ Live! をどのように活用していますか？

1 宿題



学習内容や学習状況、今後の予定などをふまえて宿題を配信します。取組や正誤の状況について把握し、日常の学習に活かしています。

2 自主学習・家庭学習



自分でたてた家庭学習の計画や今後の学習の見通しなどから、自分のペースでタブドリLive!に取り組みます。

04

導入して先生方の反応などはありましたか？



「業務負担が減った」「子どもたちのつまずきを把握しやすくなった」といった声が寄せられています。



学力向上担当:山村 麻美先生

また、児童がゲーム感覚で楽しめる要素もあるので、児童が主体的に学習に取り組む機会が増え、意欲を高める効果もたらしてくれているとの声もあります。



タブドリLive! を使っている子どもたちの反応



タブレットを利用して学習することに新鮮味を感じ、楽しみにしている様子です。紙のドリルより使いやすく、覚えやすい、自分たちで進められるのが良いといった感想があります。低学年では、宿題などにタブドリLive!をやってねというと、とても喜びます。



わかりやすいので操作に慣れると1・2年生でも苦手にしているところやおさらいを自分から進んでできる。



頑張って貯めたポイントで、アイテムゲットだ!!

タブドリLive! の良いところを3つ挙げるとしたら？

- 1 コンテンツや児童の意欲を高める仕掛けがたくさん用意されている。
- 2 課題等の配信と取組状況の確認が簡単。
- 3 自分のペースで学ぶことができる。

